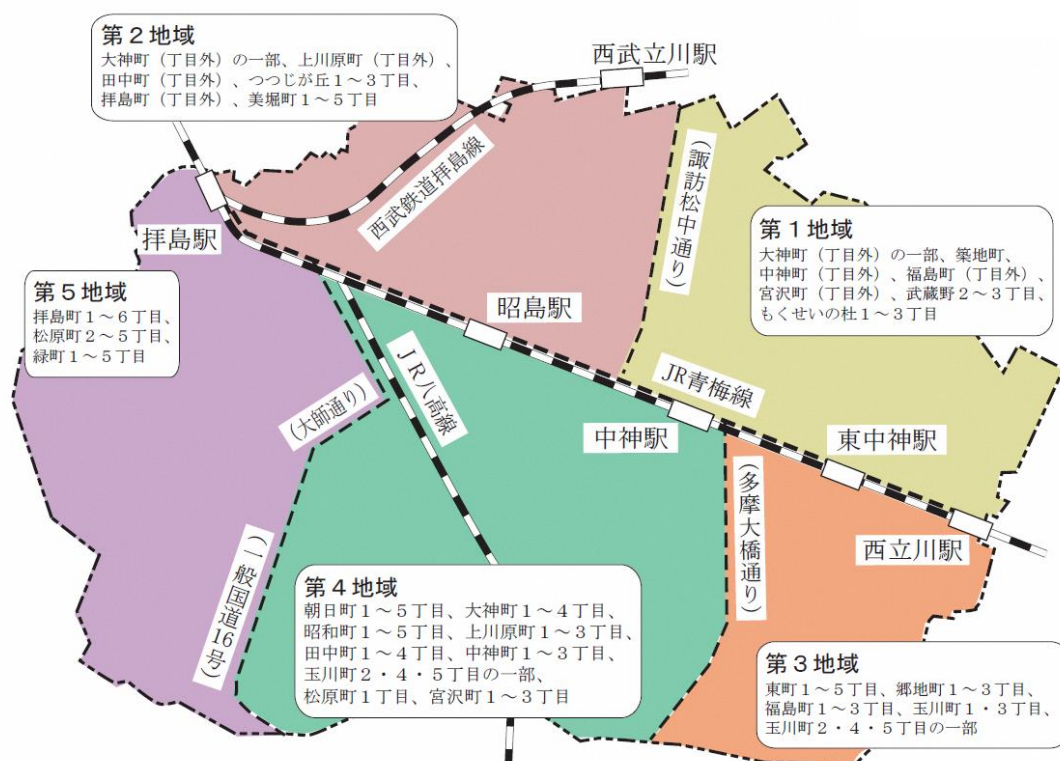


昭島市次期都市計画マスタープラン改定に向けた
＜地域別まちづくりに関する意見調査結果・概要＞



1 調査の概要

1) 目的

昭島市次期都市計画マスタープランの策定にあたり、市内を5地域に分けた各地域の現状や課題と、将来の望ましい状態についての市民の意見を把握し、今後検討する「地域別まちづくりの方針」の策定に向けた基礎資料として活用するために実施しました。

2) 調査概要

当初は、各地域において地域別まちづくり懇談会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とし、アンケート方式としました。

項目	内容
調査期間	令和2年5月15日（金）～5月29日（金）
調査方法	①住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の市民の方へ調査票を郵送（400人） ②各自治会の代表者の方へ調査票を郵送（98人） ③地域別まちづくり懇談会参加予定の方等へ調査票を郵送（9人） ④昭島市公式ホームページを利用したWEB回答（どなたでも回答可）
調査区域	第1地域：大神町（丁目外）の一部、築地町、中神町（丁目外）、福島町（丁目外）、宮沢町（丁目外）、武蔵野2～3丁目、もくせいの杜1～3丁目 第2地域：大神町（丁目外）の一部、上川原町（丁目外）、田中町（丁目外）、つつじが丘1～3丁目、拝島町（丁目外）、美堀町1～5丁目 第3地域：東町1～5丁目、郷地町1～3丁目、福島町1～3丁目、玉川町1・3丁目、玉川町2・4・5丁目の一部 第4地域：朝日町1～5丁目、大神町1～4丁目、昭和町1～5丁目、上川原町1～3丁目、田中町1～4丁目、中神町1～3丁目、玉川町2・4・5丁目の一部、松原町1丁目、宮沢町1～3丁目 第5地域：拝島町1～6丁目、松原町2～5丁目、緑町1～5丁目
調査項目	（1）各地域内で意見のある箇所（できるだけ地図上で明示してもらう） （2）地域の現状と課題（自由記載） （3）20年後の望ましい状態（自由記載）

※ 基本的には、現在住んでいる地域について回答してもらうが、自治会の区域が2地域にまたがる自治会の代表者に対しては、2地域の調査票を送付した。

3) 回収結果

- ① 有効回収数 159 人（郵送回答 151 人・WEB回答 8 人）

※ 回収票のうち無回答のものは除く

- ② 地域別回答者数及び意見件数

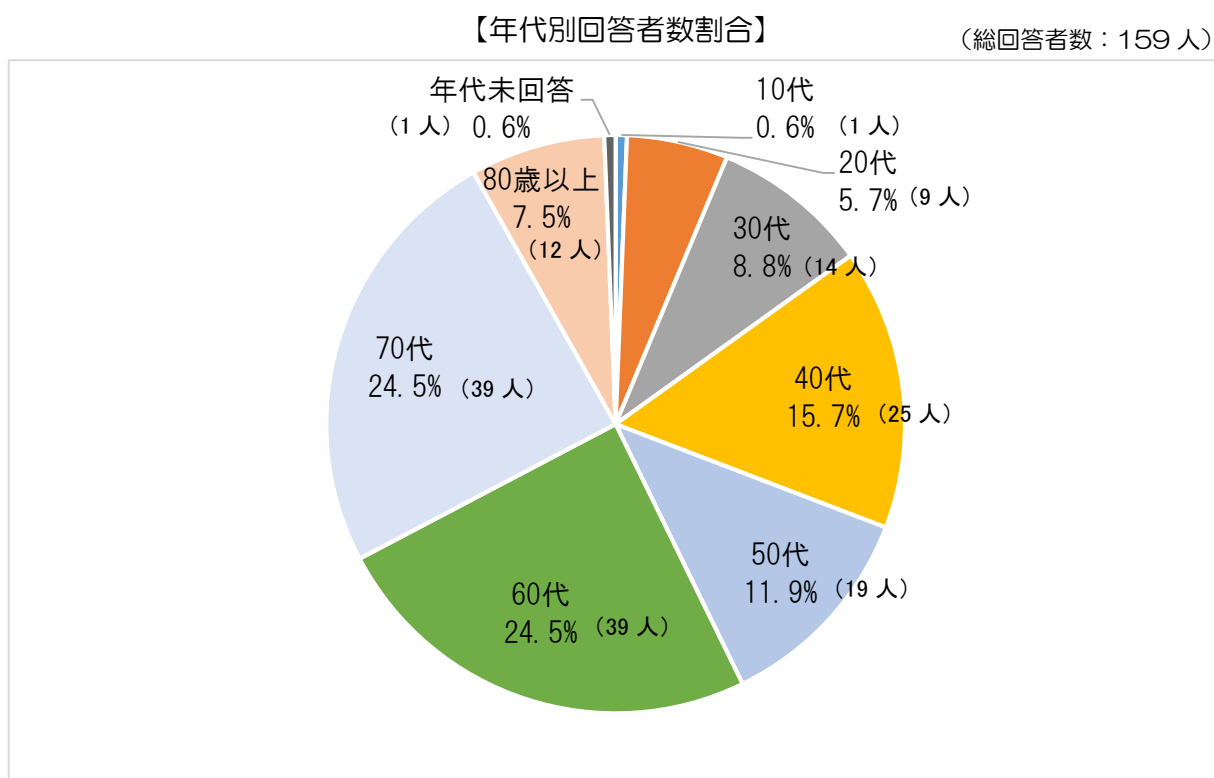
地域	回答者数	意見件数
第1地域	32 人	65 件
第2地域	34 人	75 件
第3地域	33 人	78 件
第4地域	33 人	64 件
第5地域	27 人	51 件
全体	159 人	333 件

※ 意見件数については、調査項目のうち、「(2) 地域の現状と課題」と「(3) 20 年後の望ましい状態」のいずれかに記載があれば1件としてカウントした。

※ 市全体に関する意見（7件）については、意見件数にはカウントしていない。

- ③ 回答者の年齢構成

「60代」、「70代」がともに 24.5%で、両者で半数近くの 49.0%を占めています。次いで「40代」が 15.7%となっています。

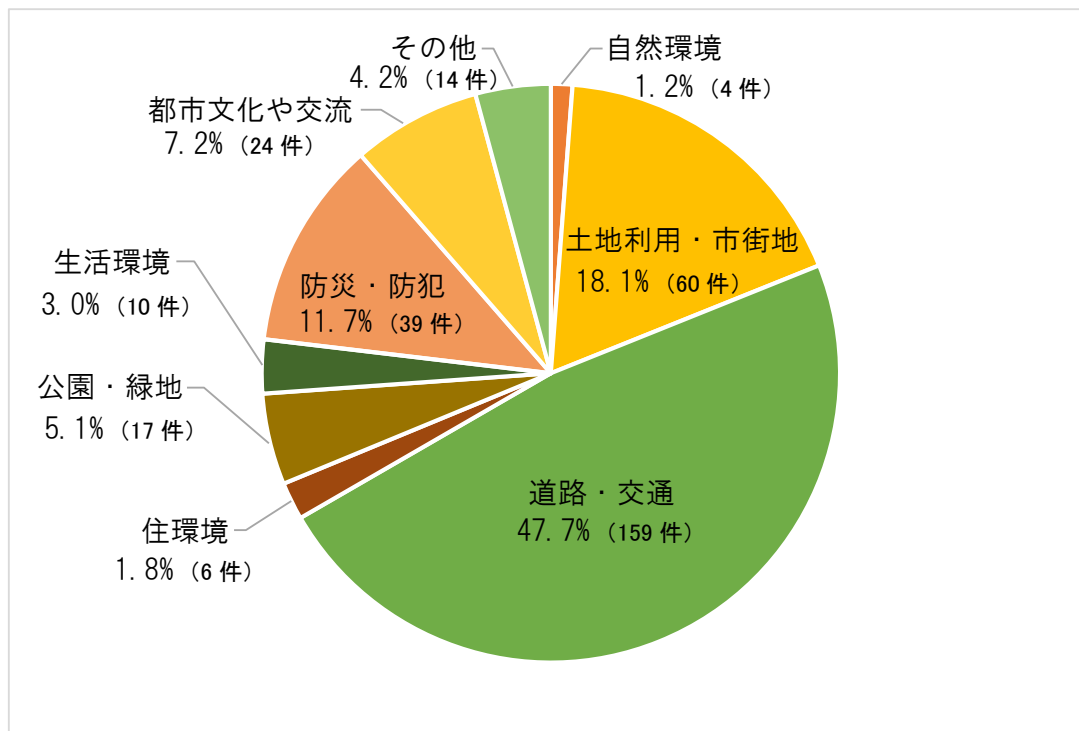


④ 回答内容の構成割合

意見内容を分野別にみると「道路・交通」が47.7%、「土地利用・市街地」が18.1%、両者で65.8%を占めています。次いで「防災・防犯」が11.7%、「都市文化や交流」が7.2%となっています。

【回答内容の構成】

(総回答件数：333 件)



※ 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても 100%にならない場合がある。

回答に記載されている全ての単語を切り分け、使われている単語の頻度や関連性について、AI（人工知能）によってその重みを判断するテキストマイニングによる分析を行うと、以下の通りとなります。

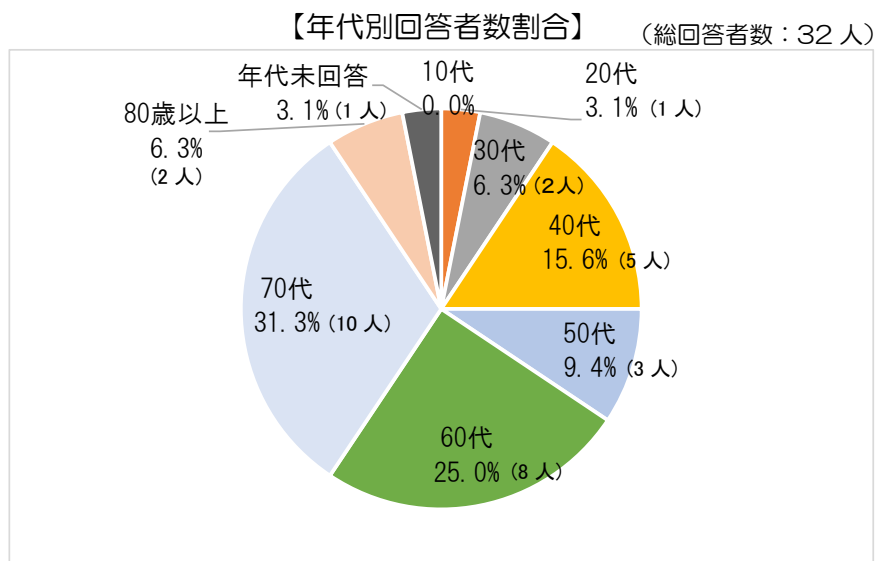
[illegible]

2 地域別の結果概要

第1地域

1) 回答者の年齢構成

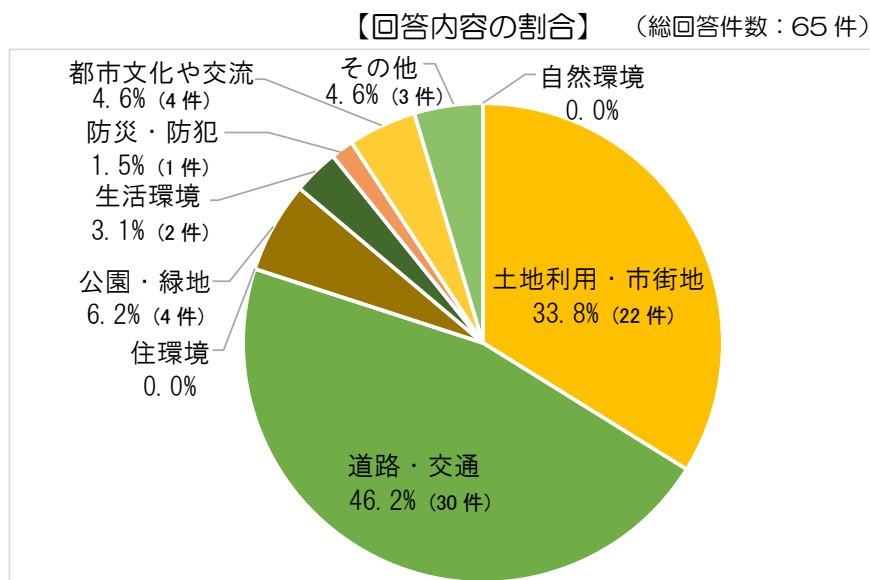
回答者 32 人中、最も多い年齢層は「70代」で 31.3%、次いで「60代」が 25.0%を占め、両者で 56.3%を占めています。



2) 項目別の回答状況

全体の傾向と比較すると「土地利用・市街地」に関する割合が非常に多くなっています（全体 18.1%、第1地域 33.8%）。これは、『立川基地跡地昭島地区』や『中神土地区画整理事業』があることによるものと考えられます。また、「防災・防犯」に関する割合が少なくなっています（全体 11.7%、第1地域 1.5%）。

第1地域内でみると、「道路・交通」が 46.2%、「土地利用・市街地」が 33.8%、両者で 80.0%を占めています。



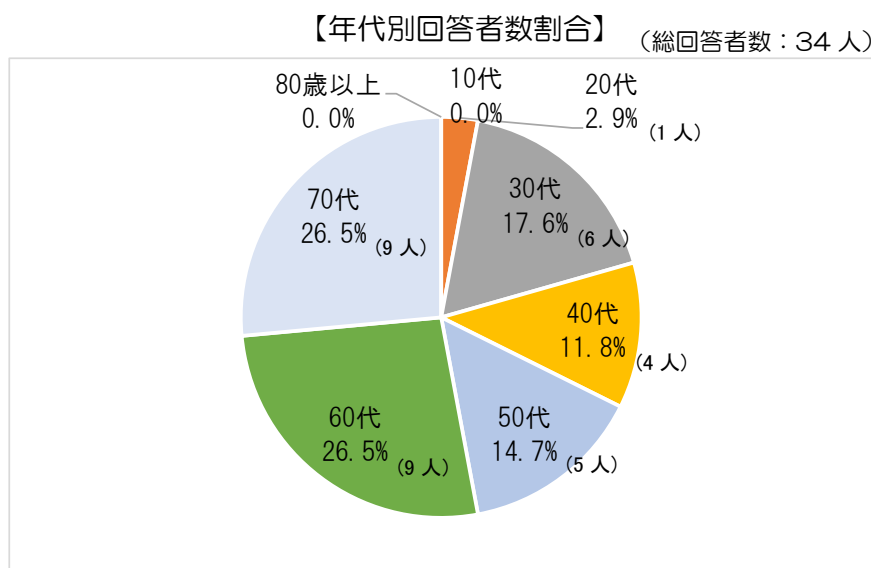
3) 主な意見内容

道路・交通 （■：地域の現状と課題 30件 ○：20年後の望ましい状態 29件）
＜道路＞ ■ 幹線道路の整備が遅れている ○ 都市計画道路等の主要な道路が完成している ■ 交通量に対応した道路整備となっていない ○ 都市計画道路等の整備により交通量の分散が図られている ■ 道路が狭く、歩行者や自転車の空間が十分に確保されていない ○ 車道と歩道の完全分離がなされている ○ 建物の改修時等を捉えた道路の拡幅がなされている ■ 通学路の安全確保が十分ではない ○ 歩道橋などの整備により通学路の安全が確保されている ■ 医療施設や高齢者施設周辺の道路のバリアフリー化が進んでいない ○ 誰もが歩きやすい歩道で電動車いすでも安心して通行できる ■ 一方通行の道路が多く、マイカー交通にも不便である ○ 道路の拡幅等により、2車線で安全に通行できるようになっている ＜鉄道（踏切）＞ ■ 鉄道通過時の踏切の遮断時間が長い ○ 地下道又は線路の高架化により、立体交差が実現している ■ 踏切が狭く段差があって通行しにくい ○ 踏切の幅拡充により、安全が確保されている
土地利用・市街地 （■：地域の現状と課題 22件 ○：20年後の望ましい状態 20件）
＜土地利用＞ ■ もくせいの杜の空間は非常に重要なところであり、計画的に進めるべきである ○ 計画期間を定め、着実に実行されている ○ 人口構成に偏りのない居住空間が整備されている ○ 高齢者専用の施設が整備されている ■ 工場とマンション等の居住機能とが混在している ○ 工業団地として区画がまとまって整備されている ＜区画整理事業関連＞ ■ 事業の進展が遅い ○ 駅前ブロックは換地処分が終了している ＜商業機能＞ ■ 駅周辺に商業施設等のサービス施設が不十分である ○ スーパーなどがあり日常の買い物に不便がない ○ 国営公園もあることから賑わいある空間となっている ■ 廃業している店舗も多く、再利用や魅力的な環境づくりに取り組むべきである ○ 昭和記念公園からの人の流れができています ○ 芸術家の作品展示などがなされ、あたたかい空間が創出されている ■ パチンコ等の遊戯施設が多く、環境問題に留意すべきである ○ IT等先端企業が誘致され立地している

第2地域

1) 回答者の年齢構成

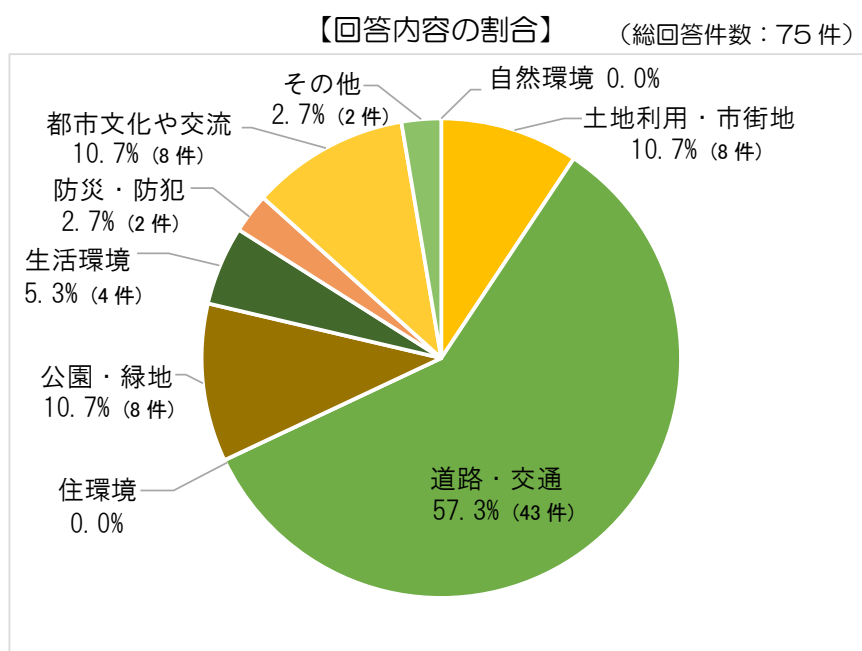
回答者 34 人中、最も多い年齢層は「70 代」と「60 代」で共に 26.5%、両者で 53.0%と半数を超えますが、「30～50 代」からも、一定の回答をいただいています。



2) 項目別の回答状況

全体の傾向と比較すると、「道路・交通」に関する割合が多くなっています。(全体 47.7%、第2地域 57.3%)。これは、市の中心部で人や車の集中があり、道路や鉄道に関する問題が多く挙げられていることによるものと考えられます。

第2地域内でみると、「道路・交通」が 57.3%と半数以上を占めています。なお、第2地域は、昭島駅や拝島駅を有し、本市の玄関口機能を担うところでもあり「都市文化や交流」に関する意見も一定程度みられます。



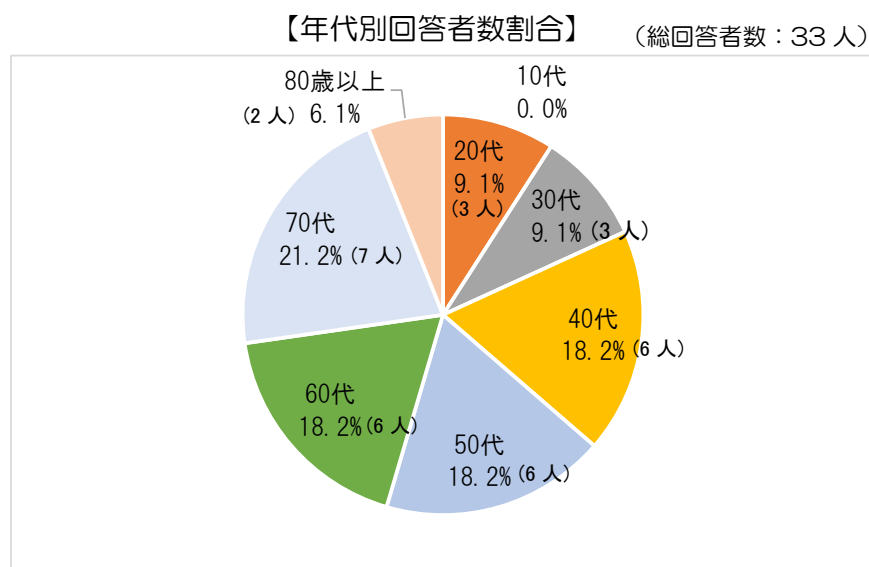
3) 主な意見内容

道路・交通 （地域の現状と課題：■ 43件 ○：20年後の望ましい状態 43件）
<道路> ■ 昭島駅周辺では特に土・日曜日の車の渋滞が激しい ○ 車道の拡幅や立体化が進み、渋滞がなくなっている ■ 道路幅が狭い箇所もみられ、交通事故発生の原因となっている ○ 横断歩道ができ、歩行者が気を付けるようになる ■ 交通量に対応した道路整備がなされていないところがある ○ 交通量に見合った道路整備がなされている ■ ガード下は視界も悪く、車・人・自転車に配慮した改良が必要である ○ 変形の十字路を無くし、見通しを確保し、道路が拡幅されている ■ 狭い歩道における自転車通行を規制する必要がある ○ 自転車のマナーの徹底と、必要に応じた自転車専用道が整備されている ■ 行き止まりの道路が多く、移動しづらい ○ 誰でも散歩でき、車いすでも安心な道路となっている ■ 車の交通マナーが非常に悪い ○ 車の交通マナーが徹底されているとともに、徐行せざるを得ない仕掛けがある ■ 駐車場が少ない ○ 国有地等を活用した駐車場が確保されている <鉄道（踏切）> ■ 昭島駅周辺の道路と鉄道の平面交差が渋滞発生の要因となっている ○ 立体化が図られ、人に安全でスムーズな交通の流れが確保されている ■ 八高線高架の箇所は車・人・自転車が輻輳し危険な状況を生み出している ○ 道路が拡幅され、安全で緊急時の交通も問題が解消されている。 <バス交通> ■ 西武立川駅と昭島駅との移動が不便 ○ くるりんバス等の便数が増え、利便性が高く、人の移動が活発になっている ■ 公共交通としてのバスの充実を図るべきである ○ Aバスを活用した市内観光ルートが形成されている
都市文化・交流 （地域の現状と課題：■ 8件 ○：20年後の望ましい状態 8件）
■ 住宅地周辺の身近な場所や散歩の途中に、高齢者も含めて気軽に休めたり憩うことができる場が必要である ○ おしゃれなテラス席のカフェやコンビニができている ■ アキシマエンスの有効を図るべきである ○ アキシマエンスが有効に活用されている ■ 大規模店舗はあっても個店が少なく、団地内空き店舗等を活用した市民の交流の場が必要である ○ 市民が運営に参加する店舗などができている
公園・緑地 （地域の現状と課題：■ 6件 ○：20年後の望ましい状態 8件）
■ 公園の管理が不十分で、夜が暗く、立ち入り禁止も多い ○ 明るくて、危なくない身近な公園が整備されている

第3地域

1) 回答者の年齢構成

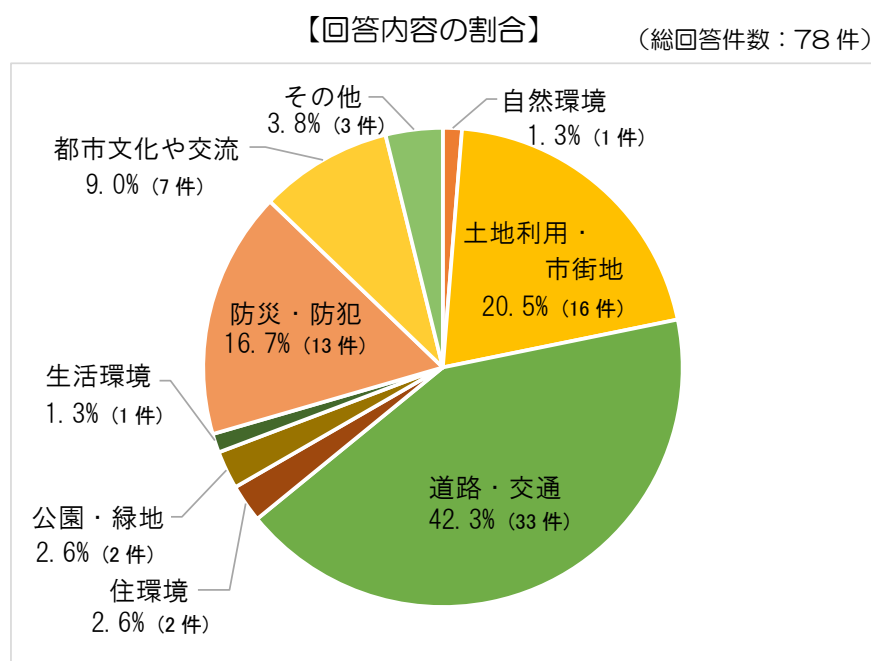
回答者は33人で、各年齢層から回答をいただいております。「40代」以上はいずれも20%前後となっています。



2) 項目別の回答状況

全体の傾向と比較すると、「土地利用」と「防災・防犯」の割合がやや多くなっていますが、大きな傾向は類似しています。

第3地域内でみると、「道路・交通」が42.3%と最も多くなっています。次いで「土地利用・市街地」が20.5%、「防災・防犯」が16.7%で、「防災・防犯」は、密集住宅や多摩川からの浸水被害に関する意見などがみられます。



3) 主な意見内容

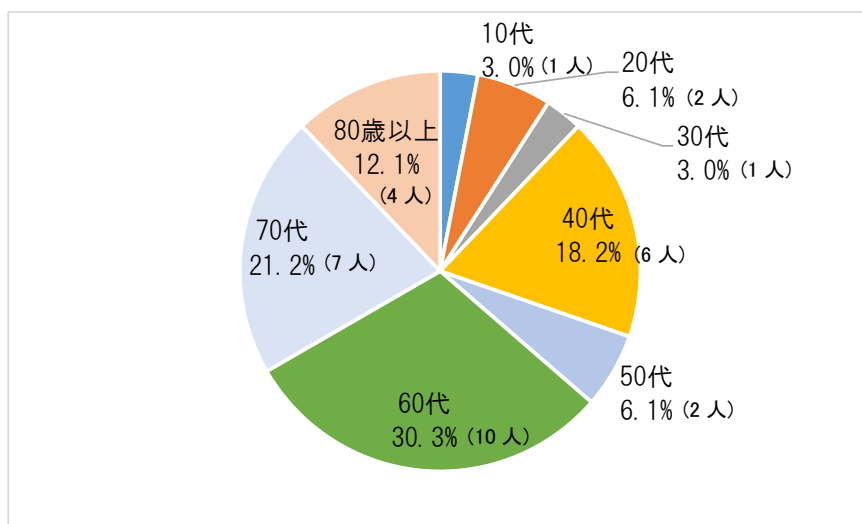
道路・交通 （■：地域の現状と課題 33件 ○：20年後の望ましい状態 32件）
＜道路＞ ■ 道路が狭く歩行や自転車通行が危険であり、車の交通にも支障がでている ○ 歩道にはガードレールが整備されている ○ 歩行者も車いすも楽に通れる道路となっている ○ 電柱の地中化が進み、見通しがよく、人や車の交通にも安全が確保されている ■ 大通りから離れると道が暗く、夜道が危険である ○ 街灯が整備され、夜でも安全な道となっている ■ 坂道が多く、子どもや高齢者にとって転んだり負担も多い ○ 路面の凸凹がない、歩きやすい道となっている ＜交通＞ ■ バスが少なく不便である ○ Aバスなどの便数が増え、利便性が増している ■ 東中神駅が駅舎は新しくなったのに、定期利用の自転車置き場が遠方にあるなど、利用面では不便になった ○ 公園の再開発に併せて、自転車置き場も確保されている
土地利用・市街地 （■：地域の現状と課題 16件 ○：20年後の望ましい状態 12件）
＜土地利用＞ ■ 広大な陸上競技場用地がある ○ 災害時に防災拠点や仮設住宅設置等の有効利用ができるようになっている ＜商業機能＞ ■ シャッター商店街になっているところがある ○ まち全体に活力があり、永続的な店舗ができています ○ 安定して経営している店舗ができています ■ 新築も増えているので、スーパー等のサービス機能が必要である ○ 徒歩圏で生活できる便利な地域になっている ■ 東中神駅周辺のサービス機能が弱い ○ 食事、買い物などができるお店がそろっている
防災・防犯 （■：地域の現状と課題 13件 ○：20年後の望ましい状態 12件）
■ 住宅密集地があり、消防車も進入できず、火災や地震が発生した場合危険な状態である ○ 道路が整備され、消防活動等がしやすくなっている ■ 立川崖線が昨今の台風や大雨により危険な状態になっている ○ 崖線を強化する工事が進み、危険度が低くなっている ■ 昭和公園は防災の広域避難場所と指定されているが、防災機能がそろっていない ○ トイレや給水タンクが整備され、救急物資のハブセンターとなっている ■ 多摩川や用水路からの氾濫の危険がある時に、避難がしにくい ○ 分かりやすい避難指示や、避難所の受け入れ態勢の見直しがされている

第4地域

1) 回答者の年齢構成

回答者33人中、「60代」が最も多く30.3%、次いで「70代」が21.2%で、この両者で51.5%と半数を超えています。なお、「40代」は18.2%、「80歳以上」は12.1%となっています。

【年代別回答者数割合】（総回答人数：33人）

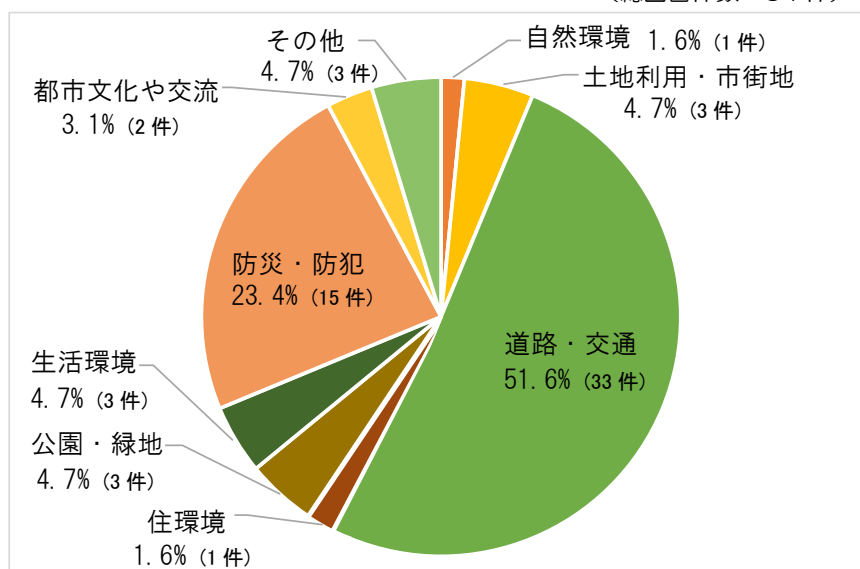


2) 項目別の回答状況

全体の傾向と比較すると「防災・防犯」の割合が非常に多くなっています（全体11.7%、第4地域23.4%）。これは、近年の豪雨等の影響により、多摩川からの浸水被害が想定されているためと考えられ、市域の南側（第3地域～第5地域）で同様の傾向がみられます。また、「土地利用・市街地」の割合が少なくなっています（全体18.1%、第4地域4.7%）。

第4地域内でみると、「道路・交通」が51.6%と最も多くなっており、駅前広場が整備されていない中神駅南口に関する意見などがみられます。次いで「防災・防犯」が23.4%を占めています。

【回答内容の割合】（総回答件数：64件）



3) 主な意見内容

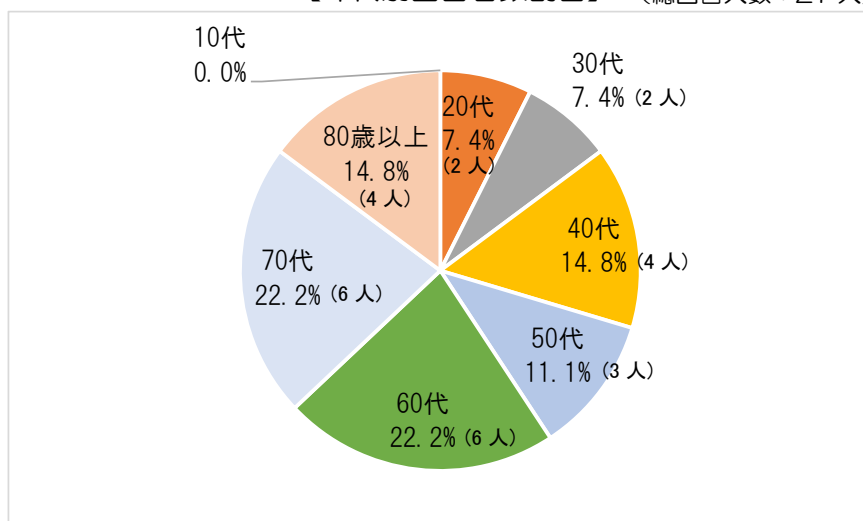
道路・交通 （■：地域の現状と課題 33件 ○：20年後の望ましい状態 31件）
＜道路＞ ■ 道路が狭く、歩行や自転車通行が危険である。また、災害時の通行も難しい ○ 道路が拡幅され、歩行者も安全に通れる歩道が整備されている ■ 雨が降ると排水機能が弱いため、水浸しになり歩けなくなる道路がある ○ 排水溝等が適正に管理され、水浸しにはならない道路となっている ■ 街路樹等の管理が悪く、見通しが悪いため道路横断に危険性が伴う箇所がある ○ 街路樹が常にきれいに整備され、安全な道路となっている ■ 慢性的な交通渋滞の箇所がみられる ○ 迂回路やアンダーパスが整備され、渋滞の解消が図られている ＜駅＞ ■ 八高線の利便性が悪い ○ 新駅が設置されている ■ 中神駅の南口の道路が狭く、自転車交通にも危険 ○ ローターリーが整備され、バスも乗り入れができる道幅になり、魅力的なお店もできている ＜交通＞ ■ 停止線や信号機がわかりづらい場所があり、危険性も大きい ○ 鉄道・車・人の分離がなされスムーズな交通が確保されている ■ バスルートが不十分である ○ Aバスなどが全ての公共施設にアクセスしている
防災・防犯 （■：地域の現状と課題 15件 ○：20年後の望ましい状態 14件）
＜防災＞ ■ 近年水害の被害が増えている ○ 治水が進み、温暖化対策にも本格的に取り組まれ、災害そのものが減っている ■ 多摩川沿線での洪水時の氾濫が心配である ○ 堤防の強化がなされ、安全性が確保されている ○ 避難所、避難経路がわかりやすく整備されている ■ 大雨時に、農業用水からの水の氾濫もみられる ○ 不必要な水路が無くされ、農業用水が適切に管理されている ■ 緊急時の救急車や消防車が進入しにくい道路や地区がある ○ 建替え時の指導などにより、4m道路が確保されている ＜防犯＞ ■ 夜間暗い場所が多く、犯罪の温床となる恐れがある ○ 夜間でも明るくて、安心して過ごせる街となっている

第5地域

1) 回答者の年齢構成

回答者は 27 人で、比較的各年齢層からまんべんなく回答をいただいておりますが、「60 代」と「70 代」が共に 22.2%で最も多く、次いで「40 代」と「80 歳以上」が共に 14.8%を占めています。

【年代別回答者数割合】（総回答人数：27 人）

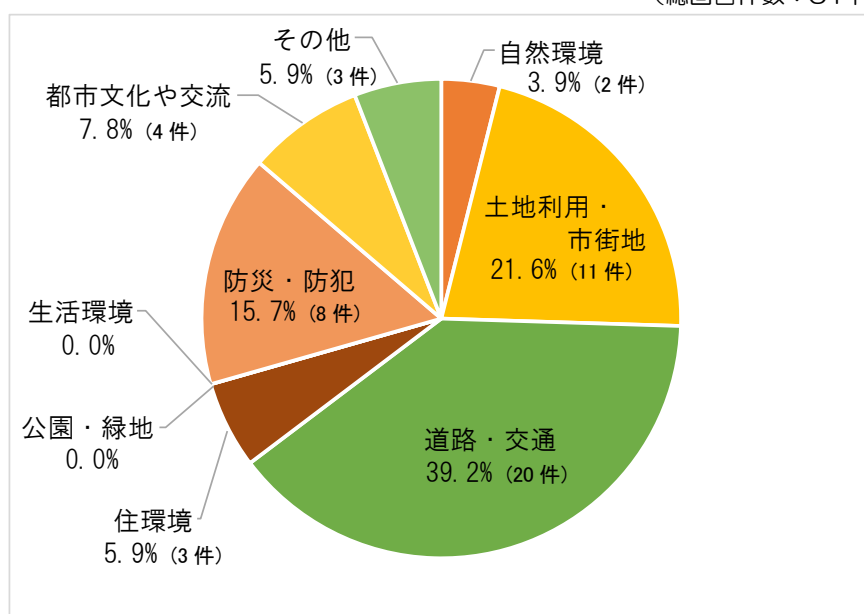


2) 項目別の回答状況

全体の傾向と比較すると、「土地利用」と「防災・防犯」の割合がやや多くなっていますが、大きな傾向は類似しています。また、「道路・交通」の割合がやや少なくなっています（全体 47.7%、第5地域 39.2%）。

第5地域内でみると「道路・交通」が 39.2%で最も多くなっています。次いで「土地利用・市街地」が 21.6%、「防災・防犯」が 15.7%で、「防災・防犯」は、防災無線の聞こえづらさや豪雨災害に関する意見などがみられます。

【回答内容の割合】（総回答件数：51 件）



3) 主な意見内容

道路・交通 （■：地域の現状と課題 20件 ○：20年後の望ましい状態 19件）
＜道路＞ ■ 道路が狭く、歩行や自転車通行が危険である ○ 道路の拡幅や電柱の地中化を進め、歩車が分離された道路となっている ■ 国道16号線の渋滞は減ったが騒音は増え、小荷田の交差点付近の事故が多い ○ 利用者の声を反映した事故減少の工夫がされている ＜交通＞ ■ 八高線の高架トンネル下が交通困難な個所となっている ○ トンネルが広くなるか、一方通行の交通システムとなり利便性が向上している ■ 子どもの通学時間帯の交通安全の確保が必要である ○ 道路の改善や速度制限により、子どもたちが安心して歩けるようになっている ■ Aバス利用にあたって、コースや乗り継ぎが不十分である ○ 各コースの逆ルートや乗り継ぎを便利にすることで、駅や病院へのアクセスの利便性が増している
土地利用・市街地 （■：地域の現状と課題 11件 ○：20年後の望ましい状態 9件）
＜商業機能＞ ■ 食料品などの買い物ができる店が少ない ○ 食料品の店など、歩いて買い物ができる環境になっている ■ 駅周辺に大型店などが無い ○ ショッピングモールや大型店が立地し、人の流れが生まれている
防災・防犯 （■：地域の現状と課題 8件 ○：20年後の望ましい状態 8件）
＜防災＞ ■ ゲリラ豪雨や、台風に対する不安が大きい ○ 治水工事により、自然災害の心配がなくなっている ■ 防災無線が聞き取りづらい ○ スピーカーが増設され、聞き取りやすくなっている ■ 高齢者が多く、指定避難所まで行くのが大変である ○ 避難所の増設などにより、高齢者でも安全に避難できる状態になっている ＜防犯＞ ■ 街灯が少なく、暗い場所が多い ○ 小学校や公園等の周りには街灯の整備が進んでいる ■ 不審者が多い ○ 交番が通り沿いに設置され、安全性が増している